

## 群馬大学共同教育学部附属学校教諭等の研修実施要項

平成16. 4. 1 制定  
改正 平成19. 4. 1 平成19. 12. 26  
平成27. 4. 1 平成29. 4. 1  
令和2. 4. 1

### (目的)

第1 この要項は、国立大学法人群馬大学教職員就業規則等の定めに基づき、国立大学法人群馬大学（以下「本学」という。）の共同教育学部附属幼稚園、共同教育学部附属小学校、共同教育学部附属中学校及び共同教育学部附属特別支援学校（以下「附属学校」という。）に勤務する教諭及び養護教諭（以下、「教諭等」という。）の初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の実施に関して必要な事項を定めることを目的とする。

### (研修の原則)

第2 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修は、教諭等の経験に応じた体系的な研修とする。

### (初任者研修)

第3 附属学校に新規採用した教諭等（以下「初任者」という。）に対して、教諭等の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（以下「初任者研修」という。）を行う（既に初任者研修を受けた者を除く。）。

2 研修の期間は、新規採用の日から1年間とする。

3 研修方法は、初任者が所属する附属学校長が研修計画書を作成して実施する。この場合において、附属学校長は、副校長及び教務主任等に研修計画書案の作成を命ずるものとする。

4 研修計画書の作成に当たっては、必要に応じて、附属学校以外の機関等が実施する研修及び講習会等を活用することができるものとする。

5 附属学校長は、初任者研修の実施に際して、副校長、教務主任及び教諭等のうちから、指導教員を命ずるものとする。

6 指導教員は、研修計画書に基づき、初任者に対して、教諭等の職務の遂行に必要な事項について指導及び助言を行うものとする。

### (中堅教諭等資質向上研修)

第4 附属学校の教諭等のうち、その在職期間（他の学校の教諭等の期間（臨時的に採用された教諭等の期間を除く。）を含む。）が10年となる者（以下「対象者」という。）に対して、個々の能力、適性等に応じて、教諭等としての資質の向上を図るために必要な事項に関する研修（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）を行う（既に中堅教諭等資質向上研修又は10年経験者研修を受けた者を除く。）。ただし、対象者のうち、出産、育児休業及びその他の特別の事由により中堅教諭等資質向上研修を受けられないと判断される者については、翌年度以降に行うものとする。

2 研修は、校外及び校内で実施するものとし、下記の日数を基準として、対象者の個々の実情に基づく必要性から研修日数を定めるものとする。

(1) 校外における研修を長期休業期間等に、年間9日間程度（共同教育学部附属幼稚園及び附属特別支援学校の教諭にあっては年間8日間程度、附属学校の養護教諭にあっては年間10日間程度。）実施するものとする。

(2) 校内における研修を課業期間等に、年間10日間以上（共同教育学部附属幼稚園及び附属学校の養護教諭にあっては年間5日間以上。）実施するものとする。

3 研修方法は、対象者の所属する附属学校長がその者の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、対象者ごとに中堅教諭等資質向上研修の計画書を作成するもの

とする。なお、この場合において、対象者に自己評価を行わせるとともに、その者の意見や希望を参考として聴取するものとする。

- 4 附属学校長は、副校長及び教務主任等に、前項の評価案及び研修計画書案の作成を命ずるものとする。
- 5 研修計画書案の作成に当たっては、対象者の専門性の向上や得意分野を伸ばすなど、教諭等のニーズに応じたものとなるよう、各々の実情に応じて、具体的な研修の内容及び方法、実施期間、場所等を決定するものとする。研修項目には、教諭にあつては学習指導、生徒指導、進路指導、学級経営等、養護教諭にあつては保健管理、保健教育等を含むものとする。
- 6 附属学校長は、附属学校内においては実施できないような専門的な内容の研修を受講させることが適正であると判断した場合には、大学又は大学院等の授業及び群馬県教育委員会等が開設する研修等を活用できるものとする。また、本学の公開講座、開放講座及び附属学校の公開研究会等の参加又は本学の大学教員による指導についても研修として位置付けることができるものとする。
- 7 附属学校長は、中堅教諭等資質向上研修が終了した場合には、当該教諭等の学習指導及び生徒指導等の状況の評価を行うものとする。
- 8 前項までの評価項目は、別紙様式3のとおりとする。

#### (手 続)

- 第5 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を行うときは、共同教育学部長に研修計画書案を提出するものとする。
- 2 共同教育学部長は、この研修計画書案を学長に提出し、承認を得るものとする。

#### (報 告)

- 第6 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を終了したときは、共同教育学部長にその結果を報告するものとする。
- 2 共同教育学部長は、前項の結果を学長に報告するものとする。

#### (研修計画書様式)

- 第7 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の計画書は、別紙様式1及び別紙様式2とする。

#### (評価書様式)

- 第8 中堅教諭等資質向上研修における事前評価に関わる基礎資料及び報告書は、別紙様式3及び別紙様式4とする。

#### (その他)

- 第9 附属学校長は、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修を実施するに当たり、授業等の校務に支障がないよう、また、研修の時間を十分に取ることができるよう、学校における校務分掌等において、十分な配慮を行うものとする。
- 2 附属学校長は、中堅教諭等資質向上研修終了時における評価の結果を、当該教諭等に対する今後の指導や研修に活用していくとともに、必要に応じて当該教諭等に説明するものとする。なお、この評価は、上記の趣旨から行われたものであり、その評価結果が直ちに勤務評定につながるものではないことを併せて説明するものとする。
- 3 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修にかかる費用は本学が負担するものとする。

#### 附 則

この要項は、平成19年12月26日から施行する。

#### 附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

別紙

付 帯 事 項

初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の実施に際し、研修対象者及び指導教員に対する職務への加重を考慮して、教員（非常勤講師）の増員等の手当が必要である。

また、これからの学校教育においては、様々な得意分野や専門分野を持った教職員が連携協力して教育効果等を高めることが必要とされていることから、養護教諭，学校事務職員，学校栄養職員等についても，これらの専門性を高め，学校運営への積極的な参加を促す観点から，研修内容の見直しや充実に努めることを付帯する。

## 別紙様式 1

## (元号) 年度初任者研修計画書

## [研修教員]

所属	群馬大学 共同教育学部附属	職名		氏名		性別	
				生年月日	年 月 日生		

月	時期	研修内容	研修場所	指導教員
4月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
5月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
6月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
7月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
8月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
9月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			

氏名	
----	--

月	時期	研修内容	研修場所	指導教員
10月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
11月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
12月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
1月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
2月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			
3月	第1週目			
	第2週目			
	第3週目			
	第4週目			

作成日 (元号) 年 月 日

作成者	Ⓜ	確認者	Ⓜ
-----	---	-----	---

## 幼稚園中堅教諭資質向上研修事前評価・研修計画書

(元号) 年 月 日

群馬大学共同教育学部附属幼稚園

園 長

公印

当該教諭氏名		担当学年等	
--------	--	-------	--

## ○ 事前評価

	当該教諭の課題や更に伸ばしたい資質・能力
幼児の指導	
学級経営その他	

## ○ 研修計画

## ア. 園内における研修計画

研修担当者	職 名		氏 名	
	予定年月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
幼児の指導				
学級経営その他				
研修時間の合計			時間	

## イ. 社会体験研修の研修計画

社会体験研修における希望	
研修希望種類	①介護・福祉 ②地域行政 ③学校・保育所 ④その他( )
研修希望内容	

小・中学校中堅教諭資質向上研修事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属小学校  
校長

公印

当該教諭氏名	
--------	--

○ 事前評価

当該教諭の課題やさらに伸ばしたい資質・能力 (学習指導・生徒指導・経営面等)

研修教科		中学校免許	
------	--	-------	--

○ 研修計画

研修担当者	職名		氏名	
-------	----	--	----	--

	予定年月日	研修内容	指導者職・氏名
教科指導			
道徳指導			
学校経営			
学年経営			
研修日数の合計			日間



## 特別支援学校中堅教諭資質向上研修事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校

校長

公印

当該教諭氏名

## ○ 事前評価

当該教諭の課題やさらに伸ばしたい資質・能力 (学習指導・生徒指導・経営面等)

所属学部

## ○ 研修計画

研修担当者

職名

氏名

	予定年月日	研修内容	指導者職・氏名
教科・領域の指導			
児童生徒理解 生徒指導・			
学級経営・その他			
研修日数の合計			日間

## 中堅養護教員資質向上研修事前評価・研修計画書

群馬大学共同教育学部附属  
校長

公印
----

当該養護教諭氏名	
----------	--

### ○ 事前評価

当該養護教諭の課題やさらに伸ばしたい資質能力（保健教育・保健管理・組織活動等）

### ○ 研修計画

研修担当者	職名		氏名	
-------	----	--	----	--

	予定年月日	研 修 内 容	指導者職・氏名
基礎研修			
保健教育			
保健管理			
組織活動			
研修時間の合計			時間

## 幼稚園中堅教諭資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該教諭 氏名		担当 学卒等	
------------	--	-----------	--

## 1 幼児の指導

評 価 基 準		重点取組
計 画	1. 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。	
	2. 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。	
	3. チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。	
環境の 設定	4. 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。	
	5. 他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている。	
	6. 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成している。	
保育の 方法・ 展開	7. 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。	
	8. 幼児と共に活動することを心から楽しんでいる。	
	9. 幼児と共に共感し、満足感や心の安定を与えている。	
	10. 個々に応じた適切な援助を行っている。	
<p>●園長等：園長等からみて、当該教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>		

## 2 学級経営その他

評 価 基 準		重点取組
学級経営	1. 個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。	
	2. 施設設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である。	
保護者への 対応	3. 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている。	
	4. 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手になっている。	
地域との 関係	5. 機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している。	
	6. 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。	
園 務	7. 園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。	
	8. 園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をする。	
向上心	9. 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。	
	10. 園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。	
<p>●園長等：園長等からみて、当該教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>		

自由記述欄（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。）

【記入上の注意】

- 1 この基礎資料は、幼稚園中堅教諭資質向上研修の目的に基づき、教諭一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものである。
- 2 園長と当該教諭が必ず面談の上、「幼児の指導」「学級経営その他」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該教諭の課題や更に伸ばしたい資質・能力などについて記述する。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたいことなどについて記述する。なお、重点取組欄は、次の基準により〔◎〕〔○〕を記入する。（数の制限はない）

基準： 〔◎〕 重点的に取り組みたいこと      〔○〕 できれば取り組みたいこと

## 小・中学校中堅教諭資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該教諭 氏 名		担 当 教 科	
-------------	--	------------	--

## 1 学習指導

	評 価 基 準	重点取組
計 画	1. 教材分析が正確かつ緻密である。	
	2. 年間指導計画に基づき、単元や題材の目標を適切に設定して計画的な指導を行っている。	
	3. 補助教材、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を適切に活用するなど授業方法を工夫している。	
	4. 児童生徒の興味・関心を生かした授業展開を工夫するなど、自主的・自発的な学習を促している。	
	5. 全員参加の授業づくりに努めるとともに、個別指導やグループ別指導などの指導方法を工夫し、個に応じた指導の充実を図っている。	
授業の 実 施	6. 授業のねらいが明確で、円滑に授業を展開している。	
	7. 学級全体や個々の児童生徒の理解度を把握し、授業の内容や方法について改善を行っている。	
評 価	8. 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の改善や学習意欲の向上に生かしている。	
その他	9. 家庭学習など児童生徒の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる。	
	10. 学習指導に当たり、教務主任等の教員との連携を図るとともに、担当する分掌についての確に責任を果たしている。	
<p>●校長等：校長等からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>		

## 2 生徒指導

	評 価 基 準	重点取組
生徒指導	1. 生徒指導について正確かつ十分に理解しており、指導の充実に向けた考え方が明確である。	
	2. 児童生徒理解を深めるとともに、様々な教育相談の手法を身に付けている。	
	3. 日頃から教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりを適切に進めている。	
	4. 児童生徒が学校や学級によりよく適応し、充実した学校生活を送ることができるよう配慮している。	
	5. いじめや不登校、非行などの問題行動等の指導に積極的に取り組んでいる。	
	6. 児童生徒が自己理解を深め、様々な活動に積極的に取り組めるよう支援している。	
	7. 日々の生活における健康・安全に十分留意した指導を行っている。	
	8. 児童生徒の日々の生活などの適切な評価に努め、記録するとともに指導に生かしている。	
	9. 特別な支援を必要とする児童生徒への理解と指導に積極的に取り組んでいる。	
	10. 生徒指導主事等他の教員との連携・協力しながら指導に当たっている。	
<p>●校長等：校長等からみて、当該教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>		

### 3 経営・その他

	評価基準	重点取組
経営	1. 学校教育目標や経営方針などに基づき、学年経営案（学級経営案）を立て、その実現化を図るとともに、適宜、評価を行い、改善に努めている。	
	2. 学級目標や個人目標の設定を工夫し、その実現に取り組む指導を適切に行っている。	
	3. 教室環境・学習環境の整備に努め、教室空間の効果的利用に努めている。	
	4. 校長をはじめ、校内における報告・連絡・相談を適切に行っている。	
	5. 授業時間以外の時間の運営を工夫し、読書活動や体力づくりなどの充実に取り組むなど、特色ある学年・学級経営に努めている。	
	6. 当番活動などの指導、係・委員会をはじめとする自主的な集団活動などの指導が適切である。	
	7. 進路指導の指導計画に基づき、適切な指導を行っている。（中学校）	
他の教員との連携	8. 組織の一員としての自覚をもち、他の教員との意思疎通を図りながら連携・協力して、担当する校務分掌について確実に責任を果たしている。	
家庭・地域等との連携	9. 家庭（地域）への情報提供に努めるなど、家庭（地域）との間に好ましい関係を作っている。	
	10. 必要に応じ、学校外の関係機関との連絡・協力等を適切に行っている。	
<p>●校長等：校長等からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>		

**自由記述欄**（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。）

#### 【記入上の注意】

- この基礎資料は、中堅教諭資質向上研修の目的に基づき、教諭一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものである。
- 校長と当該教諭が必ず面談の上、「学習指導」「生徒指導」「経営・その他」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該教諭の課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。

なお、重点取組欄は次の基準により〔◎〕、〔○〕を記入する。（数の制限はない）

基準： 〔◎〕 重点的に取り組みたい・取り組ませたいこと  
 〔○〕 できれば取り組みたい・取り組ませたいこと

## 特別支援学校中堅教諭資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

当該教諭氏名		所属学部等	
--------	--	-------	--

## 1 教科・領域の指導

評価基準	重点取組
1. 自立活動や各教科等を合わせた指導等の特徴を踏まえて指導を行っている。	
2. 個別の指導計画を基に日々の授業を行い、評価している。	
3. 教材の選択が適切であり、また、教材分析が正確かつ緻密である。	
4. 年間指導計画に基づき、教育課程を適切に実施している。	
5. 学級全体や個々の児童生徒の実態を、適切に把握している。	
6. 個に応じた教材・教具を適切に活用するなど、授業方法を工夫している。	
7. 児童生徒の興味・関心を生かし、自発的な学習が促されるよう工夫している。	
8. 授業の進め方が円滑である。	
9. 評価を工夫し、指導の改善や学習意欲の向上に生かすようにしている。	
<p>校長等：校長等からみて、当該教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>	

## 2 生徒指導・児童生徒理解

評価基準	重点取組
1. 障害の特性や状態の理解に努め、適切な指導を行っている。	
2. 生徒指導について正確かつ十分に理解し、指導の充実に向けた考え方が明確である。	
3. 児童生徒理解を深めるとともに、様々な教育相談の手法を身に付けている。	
4. 日ごろから教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係づくりを適切に進めている。	
5. 児童生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう配慮している。	
6. 問題行動等の指導に対して、その背景や要因を考え、適切に対応している。	
7. 卒業後の生活を見通し、適切な指導を行っている。	
8. 児童生徒の日々の生活などの適切な評価に努め、記録及び指導に生かしている。	
9. 生徒指導等に当たり、生徒指導主事等他の教員との連携協力を適切に行っている。	
<p>校長等：校長等からみて、当該教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。          当該教諭：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。</p>	

### 3 学級経営・その他

評価基準	重点取組
1. 学校教育目標や経営方針などに基づき、学級経営案(及び学年経営案)を立て、その実現化を図るとともに、適宜、評価を行い、改善に努めている。	
2. 児童生徒が分かりやすく使いやすいよう、教室環境・学習環境の整備に努めている。	
3. 校長をはじめ、校内における報告・連絡・相談を適切に行っている。	
4. 家庭への連絡や情報提供を綿密に行うなど、家庭との好ましい関係づくりに努めている。	
5. 地域への情報提供を行うなど、地域との好ましい関係づくりに努めている。	
6. 必要に応じ、医療・福祉・労働等の関係機関との連携を適切に行っている。	
7. 日々の生活における健康・安全に十分留意した指導を行っている。	
8. 学習指導、生徒指導等以外についても、特別支援教育コーディネーターや養護教諭等の教員との連携協力を適切に行うとともに、担当する分掌についての確に責任を果たしている。	
校長：校長からみて、当該教諭等に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて記述する。 当該教諭等：これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。	

**自由記述欄** (上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。)

#### 【記入上の注意】

- この基礎資料は、「特別支援学校中堅教諭資質向上研修」の目的に基づき、教諭一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものである。
- 校長等と当該教諭が必ず面談のうえ、「教科・領域の指導」「生徒指導・児童生徒理解」「学級経営・その他」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って、当該教諭の課題やさらに伸ばしたい資質・能力などについて記述する。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたいことなどについて記述する。なお、重点取組欄は次の基準により〔◎〕、〔○〕を記入する。  
(数の制限はない)

基準：   〔◎〕 重点的に取り組みたいこと      〔○〕 できれば取り組みたいこと



## 中堅養護教員資質向上研修事前評価に関わる基礎資料

<b>当該養護教諭 氏名</b>		<b>校務分掌等</b>	
----------------------	--	--------------	--

### 1 保健教育

領域	評価基準	重点取組
<b>保 健 教 育</b>	1. 学校教育目標との関連、教科や他の教育活動との関連を図り、保健指導計画等の企画立案に専門的立場から参画している。	
	2. 学級活動、ホームルーム活動等における集団の保健指導を効果的に行っている。	
	3. 学校行事等における保健指導が適切である。	
	4. 資料や教材が整備されており、専門性を生かした教材の開発と工夫に努めている。	
	5. 健康診断や健康観察等で把握した実態に基づき、心身の健康問題を有する児童生徒の保健指導を行っている。	
	6. 保健室来室者への個別指導が適切である。	
	7. 健康への関心を高めるための取組（啓発等）を行っている。	
	8. 健康課題を明確に捉えるための、データの分析や資料提示を行っている。	
	9. 健康課題を把握し、改善・解決を図るために、学校・家庭・地域と連携した指導や取組を行っている。	
	10. 保健指導・保健学習にあたり、関係職員との連絡・調整を適切に行っている。	
<p>●校長等： 校長等からみて、当該養護教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて、記述する。                  当該養護教諭： これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質能力などについて、記述する。</p>		

### 2 保健管理

領域	評価基準	重点取組
<b>保 健 管 理</b>	1. 保健室経営計画が作成され、健康診断、感染症や疾病の予防、救急処置など、効果的な保健室経営を行っている。	
	2. 学校行事や緊急時の救急体制の整備に努め、関係職員との連携が適切である。	
	3. 健康診断の立案、実施、評価を行い、改善を行っている。	
	4. 学校保健計画に基づく保健管理が行われるように関係職員に情報提供や助言ができる。	
	5. 心身の健康問題を有する児童生徒の把握に努め、養護教諭の職務の特質を生かした健康相談を行っている。	
	6. 心身の健康問題を有する児童生徒の支援について、必要に応じて見直し、役割の確認等を行っている。	
	7. 校外の専門機関との連携を校内の対応に生かすことができる。	
	8. 学校環境衛生について、学校薬剤師が行う検査の準備、実施、事後措置に協力している。	
	9. 保健室の備品の整備や薬品の適切な管理を行っている。	
	10. プライバシーの保護に配慮し、個人情報の管理を適切に行っている。	

- 校長等： 校長等からみて、当該養護教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて、記述する。  
 当該養護教諭： これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質能力などについて、記述する。

### 3 組織活動

領域	評価基準	重点取組
組織活動	1. 学校運営上の課題や自らの役割を理解し、学校の教育目標や実態に応じた計画を立案し、具現化を図るとともに、適宜、評価を行い、改善を行っている。	
	2. 組織の一員としての自覚を持ち、教職員との意思疎通を図りながら連携・協力して、担当する校務分掌についての的確に責任を果たしている。	
	3. 学校保健活動の推進のために校務分掌組織との連携を図り実施している。	
	4. 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携を図り、組織的な活動に努めている。	
	5. 職員・児童生徒等による保健委員会等の組織的な活動に参画している。	
	6. 学校保健委員会の企画・運営に参画し、健康に関する課題の解決、健康教育の推進に努めている。	
	7. 広報等により、学校保健に関する情報を家庭に適切に提供している。	
	8. 家庭からの相談や情報が得られやすく、家庭やPTAと連携した活動ができるように工夫している。	
	9. 地域の関係機関や団体との連携を密にし、適切な協力が得られるように努めている。	
	10. 健康に関する現代的な課題に適切に対応するために必要な研修に努め、その成果を職務に生かしている。	
●校長等： 校長からみて、当該養護教諭に期待することや取り組んでもらいたいことなどについて、記述する。 当該養護教諭： これまでの教職期間を振り返って、課題やさらに伸ばしたい資質能力などについて、記述する。		

自由記述欄（上記を総合したことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。）

#### 【記入上の注意】

- この基礎資料は、中堅教員資質向上研修の目的に準じて、養護教諭一人一人の能力や適性等に応じた研修を実施するために作成するものである。
- 校長等と当該養護教諭が必ず面談のうえ、「保健教育」「保健管理」「組織活動」について、重点取組欄とこれまでの教職期間を振り返って当該養護教諭の課題やさらに伸ばしたい資質能力などについて記述する。最後の「自由記述欄」には、総合的なことやその他取り組みたい・取り組ませたいことなどについて記述する。なお、重点取組欄は次の基準により〔◎〕、〔○〕を記入する。（数の制限はない）

基準： 〔◎〕 重点的に取り組みたいこと      〔○〕 できれば取り組みたいこと

## 幼稚園中堅教諭資質向上研修報告書

本園教諭 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

(元号) 年 月 日

群馬大学共同教育学部附属幼稚園

園 長

公印

当該教諭氏名		担当学年等	
--------	--	-------	--

## ○ 園内における研修報告

	実施年月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
幼児の指導				
学級経営その他				
研修時間の合計				時間

## ○ 各研修における自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該教諭が記入）
幼児の指導	
学級経営・その他	

## ○ 園長所見

--

## 小・中学校中堅教諭資質向上研修報告書

本校教諭 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属小学校  
校長

公 印

当該教諭氏名		研修教科	
--------	--	------	--

### ○ 校内における研修報告

	実施年月日	研 修 内 容	指 導 者 職 ・ 氏 名
教科指導			
道徳指導			
学校経営			
学年経営			
研修日数の合計			日間

### ○ 各研修における自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該教諭が記入）
教科指導	
道徳指導	
学校経営	
学年経営	

### ○ 校長所見

## 特別支援学校中堅教諭資質向上研修報告書

本校教諭 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属特別支援学校

公印

校 長

当該教諭氏名		所属学部等	
--------	--	-------	--

### ○ 校内における研修報告

	実施年月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
教科・領域の指導				
児童生徒指導・生徒理解				
学級経営・その他				
研修日数の合計				日間

### ○ 各研修における自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該教諭が記入）			
教科・領域の指導				
児童生徒指導・生徒理解				
学級経営・その他				

### ○ 校長所見

### 中堅養護教員資質向上研修報告書

本校養護教諭 ○○○○の研修が修了しましたので報告いたします。

群馬大学共同教育学部附属  
校 長

公印

氏 名	
-----	--

○ 校内における研修報告

	実施年月日	研 修 内 容	時間	指導者職・氏名
基礎研修				
保健教育				
保健管理				
組織活動				
研修時間の合計			時間	

○ 保健教育・保健管理・組織活動等に関する自己評価

	1年間の研修の成果と課題（当該養護教諭が記入）
保健教育	
保健管理	
組織活動	

○ 校長所見

--